

株式会社やまみ(東証1部 2820)

2022年6月期第2四半期業績概要

○新型コロナウイルス感染症による影響について

新型コロナウイルス感染症による影響は当社では現在発生しておりません。

仕入れ等については、新型コロナウイルス感染症発生前と、変わらない状況であり、製品の供給に必要な物資等は変わらず確保されております。

売上高についても順調な推移であり、2022年6月期第2四半期(7月~12月)においても大きな影響はございませんでした。

当社は食のサプライチェーンの一員として、感染対策の徹底を引き続き行い、消費者の皆様へ安心・安全な製品の安定供給に努めて参ります。

○直近の事業環境について

豆腐製造業は、大手小売業の要望に応えられる大規模事業者への集約が加速度的に進行しております。大豆や食用油の価格上昇以外にも、今後は容器包装の値上がりなども加わり、コスト環境は中・小規模事業者には特に厳しい市場環境となっております。

そうした環境の中、当社は中・高価格帯商品の開発を強化し、競争力の高い製品への集約や、著しい低価格製品の単価是正に継続的に取り組んでおります。

富士山麓工場においては、主要商談先である首都圏でのコロナ禍による営業活動の制限等の影響もありますが、2022年6月期第2四半期においては毎月、前月比増で売上高を順調に伸ばしております。関東地方での売上高増加先につきまして、西東京を中心に展開するA社はPB豆腐の受託、北関東に本拠を置くB社は新たに豆腐・厚揚げを納入、東京・神奈川を中心に小型多店舗広域展開するC社も新たに豆腐・厚揚げを納入、全国展開するD社は前年同四半期比倍増と好調に推移しております。

○富士山麓工場の進捗について

富士山麓工場では、取引先への当社製品の競争力と供給力の高さが少しずつ認知されてきたことにより、カット3P豆腐、厚揚げ等の主力製品の販売が好調となり、2022年6月期第2四半期は、約693百万円の売上高(前年同四半期は381百万円(注))と312百万円の増加となりました。また、稼働率が向上したことに伴い、前年同四半期と比較して大幅に原材料費率が改善されております。

富士山麓工場の償却負担は2022年6月期第2四半期において(対象6か月間の)月平均負担額は約47百万円となっております(前年同四半期の償却負担の月平均負担額は約51百万円)。

(注) 2021年6月期に「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用したと仮定して算定の数値

○業績サマリー（第2四半期累計）

単位：百万円

	2021年6月期 第2四半期実績	2022年6月期 第2四半期実績	対前年同四 半期増減率
売上高	6,468	6,934	+7.2%
売上総利益	1,318 富士山麓工場単体：▲278	1,551 富士山麓工場単体：▲128	+17.6%
営業利益	369 富士山麓工場単体：▲375	562 富士山麓工場単体：▲255	+52.2%
経常利益	382	569	+48.8%
四半期純利益	260	376	+44.1%

（注）2022年6月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しており、2022年6月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期の増減については、2021年6月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した数値を記載しております。

1. 2022年6月期第2四半期業績概要

（注）対前年同四半期の増減については、2021年6月期に「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用したと仮定して算定の数値

◎売上高

売上高は、当社主力商圏（中四国・関西地方等）での販売が堅調であったことに加え、関東地方での積極的な営業が成果を上げ富士山麓工場の売上高が伸び、前年同期比（※）では+7.2%、466百万円の増収となる6,934百万円となりました。

（※）前年同期比＝対前年同四半期増減率、または増減額。以下同じ。

◎売上総利益

売上総利益は、大豆や食用油の高騰、水道光熱費の値上がりがありましたが、著しい低価格製品の単価是正、高付加価値の製品への転換を進めていることにより、販売単価が改善されたこと、富士山麓工場の稼働率が向上し材料費率が前年同期比で改善したこと等から、前年同期比では+17.6%となる1,551百万円となりました。なお、富士山麓工場単体での売上総利益は▲128百万円となっており（前年同期の売上総利益は▲278百万円）、製造原価に関わる減価償却費は286百万円となっております。

◎営業利益

営業利益は、運賃コスト上昇に伴う荷造運賃の増加（前年同期比+28百万円）がありましたが、引き続き販売費および一般管理費の抑制に努めた結果、前年同期比では+52.2%、192百万円の増益となる562百万円となりました。

◎経常利益

経常利益は、営業外収益の助成金収入の減少（前年同期比▲9百万円）がありましたが、営業外費用の支払利息も減少（前年同期比▲5百万円）し、前年同期比では+48.8%、186百万円の増益となる569百万円となりました。

◎四半期純利益

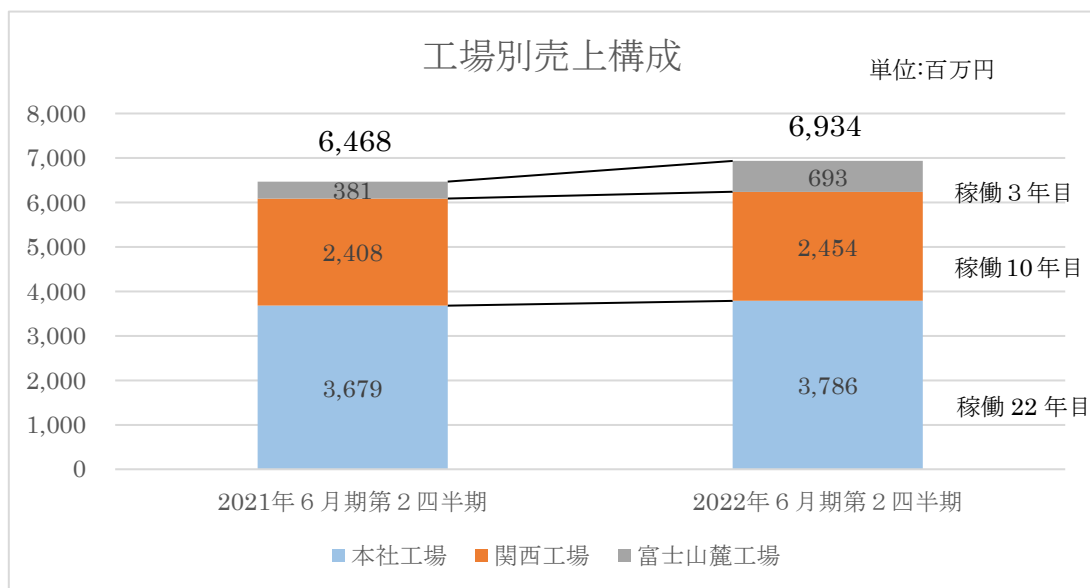
四半期純利益は、前年同期比では+44.1%、115百万円の増益となる376百万円となりました。

○工場別売上構成について

2022年6月期第2四半期における当社の工場別売上構成について

(注) 2021年6月期に「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用したと仮定して算定の数値

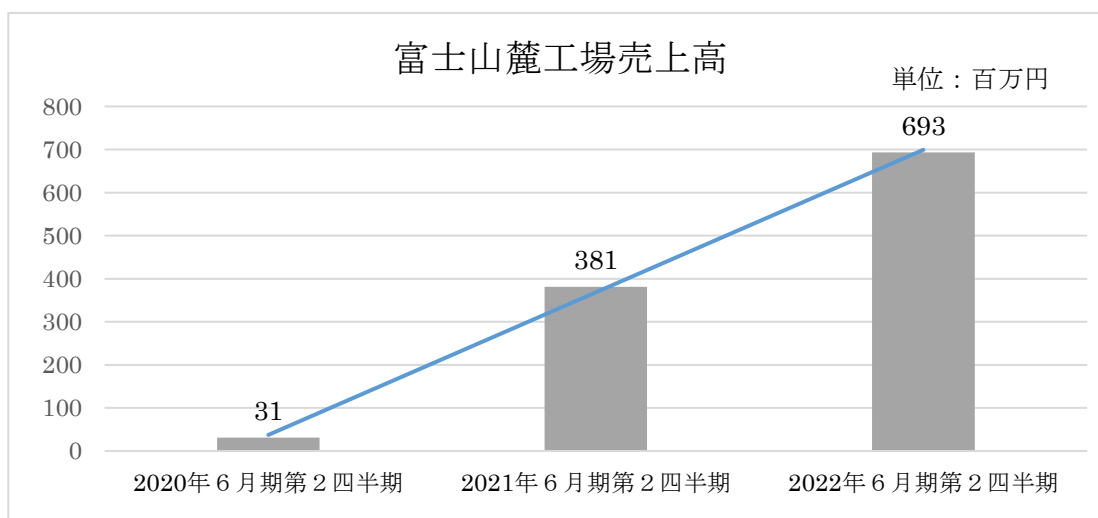
当社は一般消費者向け各種豆腐、厚揚げ、おからパウダーを主力に、九州から中国・四国、関西、東海の各地方に加えて、関東地方でも積極的な営業を展開し、全ての工場で前年同期比で増収となりました。



○富士山麓工場売上高について

(注) 2020年6月期及び2021年6月期に「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用したと仮定して算定の数値

富士山麓工場については新規取引先の増加、付加価値商品の納入等から、2022年6月期第2四半期における売上高は、前年同期比で+81.9%、312百万円の増収となる693百万円となりました。



【株式会社やまみ 会社概要】

設立： 昭和 50 年 1 月
代表者： 代表取締役社長 山名 徹
資本金： 1,245 百万円
事業内容： 豆腐及びその関連製品である厚揚げ、油揚げ等の製造、販売
本社： 広島県三原市沼田西町小原字袖掛 73 番地 5
事業所 関西工場
滋賀県甲賀市水口町さつきが丘 16 番地
富士山麓工場
静岡県駿東郡小山町湯船字下原 959 番 16
大阪営業所
大阪府茨木市末広町 4-41-202
東京営業所
東京都北区東田端 2-7-16 神原ビル 2 101 号室
従業員数 正社員 262 名、パート社員 240 名
合計 502 名 (2021 年 12 月末現在)

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社やまみ 経営企画室

TEL : 0120-047-803 FAX : 0848-86-3676 e-mail : ir@yamami.co.jp

本資料は、2022 年 6 月期第 2 四半期の業績及び今後の経営ビジョンに関する資料の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は 2022 年 2 月 14 日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。